

赤ちゃんの頭のかたち外来 開設のお知らせ

謹啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は群馬大学医学部附属病院小児科に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度当科では令和8年4月17日より赤ちゃんの頭のかたち外来を開設いたします。赤ちゃんの頭のゆがみは、向きぐせなどの外部圧力が主な原因です。子宮内環境や分娩時の介入、出生後の向きぐせ、筋性斜頸・発育性股関節形成不全といった疾患などが位置的頭蓋変形を引き起こすと考えられます。

位置的頭蓋変形は、整容上の問題にとどまらず、耳介の位置のずれや中耳炎、斜視、噛み合わせや歯並びの不整、頭痛など長期的な健康問題が起こりやすくなる可能性が指摘されています。介入方法には理学療法や、自費診療となるヘルメット矯正治療がありますが、頭のゆがみには頭蓋縫合早期癒合症などによる病的頭蓋変形が潜んでいる可能性もあり、当院では頭蓋変形を早期にかつ正確に鑑別診断し予防や介入を実施できるよう、脳神経外科も受診していただき両科で診療してまいります。なお、当院は日本ヘルメット治療評価認定機構より認定医療機関に認定されています。対象となる患者さんがいらっしゃいましたらぜひご紹介くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

赤ちゃんの頭のかたち外来：令和8年4月17日 金曜日午前より

第1、3週 金曜日午前

以上

令和8年3月17日

群馬大学医学部附属病院小児科教授 滝沢 琢己
群馬大学医学部附属病院小児科医会長 大津 義晃